

Sagabi News 68



CONTRIBUTION

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

新年度を迎えるにあたり、本学の理事長、学長からのメッセージをお届けいたします。

新入学を祝して

大覚寺学園

理事長 伊勢 俊雄



「嵯峨美術大学」「嵯峨美術短期大学」に新入学の皆さま、ご入学おめでとうございます。学校法人大覚寺学園理事長を務めさせていただいております真言宗大覚寺派宗務総長・大本山大覚寺執行長の伊勢俊雄でございます。

大覚寺は、平安時代のはじめ、嵯峨天皇さまの離宮として建立されて以来1200年有余年の歴史ある古刹です。天皇または皇族の方々が住職となられた門跡寺院として建立され、今日では「華と心経の寺」として親しまれています。昨年は嵯峨天皇さまが1200年前にお書きになられた般若心経を60年ぶりに御開封いたしました。皇太子殿下、秋篠宮同妃両殿下、高円宮妃久子殿下、各宮家の方々も訪れていただきました。

大学のあるこの地、たおやかな嵯峨野にたたずめば、しばし平安や鎌倉の南北朝の時代がよみがえり、いにしえの人々の声が聞こえてきます。春は桜、夏は緑、秋は紅葉、冬は雪景色と四季折々の姿を見せてくれます。歴史に育てられたこの地で美術を学ぶ皆さまには、ぜひ心の中にある豊かな感性を育てていただきたいと思います。

今、人生の新しいページを開こうとしている皆さまには、できるだけ多くの書物を手にとっていただきたい。読書の歴史は、自らの成長の歴史になります。過去の優れた人たちとの会話でもあります。人格の陶冶に励むと共に、豊かに強く高い精神性を持つ人として、日々成長していただきたいと思います。

学ぶことは、まずは知性を磨くことですが、そこにとどまらず、その上に徳性を磨くことだと思います。学問は「深い知識」だけでなく人としての十分なありかた、人間性を求めることにあります。広くは「豊かな道徳性」といってもいいでしょう。美術を追究すると同時に、教養人としての成長を期待します。

アートやデザインを 生きる力に！

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学

学長 佐々木 正子



皆さま入学おめでとうございます。

嵯峨美術大学、嵯峨美術短期大学の教職員一同、皆さまを歓迎致しております。

本学は風光明媚な京都の嵯峨・嵐山という、落ち着いて学べる素晴らしい環境にあります。アートやデザインは現代社会において、情報の伝達をスムーズにし、機能性を高め、あるいは人々の心を和ませ、関係性をよくし、希望や高揚感を与えてくれるものでもあります。そのアートやデザインを活用できる力を身につけることは、独自の発想力、企画力、構力、技術力などという底力となって、自分の望む人生を切り開いていく、大きな力になっていくものと思います。

何もない「無」の状態から、一つ一つの判断と決断を繰り返して創作物を仕上げていくわけですから、相当な訓練としてその力が蓄積されていきます。

卒業生の活躍を見ますと、在学中に身につけた力がアートの領域に留まらずさまざまな分野で応用され、活かされていることがわかります。一人一人が自分独自の未来を描いて頑張っています。素晴らしいことですね。皆さまも是非、自分の目差す未来に向かって前進してください。

入学後は親元を離れて初めての一人暮らしが始まる方、馴染みのない京都に来られた方もあることでしょう。最初はちょっと大変なこともあるかも知れませんが、先輩や周りの友達にも相談して、明るいキャンパスライフを是非実現させてください。本学は学生支援も充実し、いつでも皆さまをサポートできる体制が整えられています。さまざまなイベントや交流を通し、充実した学生生活を送られますことをお祈りしています。

学長選挙結果報告

森本武学長が2018年度末で任期満了にて退任されることに伴い、学長選挙を2018年12月12日(水)に実施

いたしました。候補者として佐々木正子氏(嵯峨美術大学特任教授)が推薦され、12月15日(土)の理事会で次期学長として承認されました。なお、任期は2019年4月1日から4年間となります。

2019年度 教学運営体制

2019年度の教学運営体制が次の通り編成されました。
(2019年4月1日付)

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学

学 長	佐々木 正子 教授
学長室長	野副 幸子
教務委員長	仲 政明 教授
学生支援委員長	辻 勇佑 教授
教務・学生支援グループ長	土井 準一
入学広報委員長	神谷 三郎 准教授
入学広報グループ長	松本 昇
芸術センター運営委員長	山本 直樹 教授
社会連携・研究支援グループ長	古川 誠(管理運営グループ長兼務)

嵯峨美術大学・同大学院

芸術学部長	宇野 和幸 教授
造形学科長	松本 泰章 教授
デザイン学科長	下西 紀子 准教授
大学院芸術研究科長	江村 耕市 教授

嵯峨美術短期大学

短期大学部長	坂田 岳彦 教授
美術学科長・専攻科長	堤 抄子 教授

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学附属機関

芸術センター長	山本 直樹 教授
博物館長	山本 英男 教授
図書館長	佐野 仁志 教授
学生相談室長	康 智善 教授

教職員人事

■退職

教員 (2019年3月31日付)

【嵯峨美術大学】

森本 武(嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学学長)

入佐 美南子(芸術学部造形学科教授)

【嵯峨美術短期大学】

西山 健史(美術学科准教授)

谷内 春子(美術学科専任講師)

オオタガキフミ(美術学科専任講師)

職員(2019年3月31日付)

藤村 享子(保健室)／中永 紗枝子(教務・学生支援グループ)

■着任

教員(2019年4月1日付)

【嵯峨美術大学】

池田 泰子(芸術学部デザイン学科教授)

小畑 博正(芸術学部デザイン学科教授)

北島 文人(芸術学部造形学科専任講師)

敷城 こなつ(芸術学部デザイン学科特任講師)

【嵯峨美術短期大学】

山本 英男(美術学科教授)

滝村 彩子(美術学科専任講師)

西谷 福朗(美術学科専任講師)

職員(2019年4月1日付)

平尾 明子(教務・学生支援グループ)

■昇任(2019年4月1日付)

【嵯峨美術大学】

日野田 崇(芸術学部造形学科教授)

安齋 レオ(芸術学部デザイン学科教授)

【嵯峨美術短期大学】

堤 抄子(美術学科教授)

2018年度 卒業式

2018年度嵯峨美術大学および嵯峨美術短期大学卒業証書・学位記授与式、ならびに修了証書授与式が2019年3月20日(水)に執り行われました。

卒業・修了者数は右の通りです。

なお、卒業式終了後、会場を京都市下京区の「ホテルグランヴィア京都」に移して、教育後援会主催の卒業・修了祝賀パーティーを開催いたしました。(管理運営グループ)

【嵯峨美術大学大学院】

大学院芸術研究科 10名

【嵯峨美術大学】

芸術学部造形学科 25名

芸術学部デザイン学科 65名

【嵯峨美術短期大学】

専攻科 20名

美術学科美術分野 16名

美術学科デザイン分野 59名

美術学科マンガ分野 15名

美術学科コミックアート分野 43名

卒業・修了者総数 253名

2019年度 入試結果報告

昨年8月のAO入試I期から始まった2019年度入試も、3月をもって全日程を終了いたしました。専願制入試であるAO入試・指定校推薦入試の志願者総数は、大学・短期大学ともに昨年度を上回りました。

また、合格者に対して、大学・短期大学とも年額500,000円の奨学金を給付するスカラシップ(特別奨学生)入試は本学会場のほか、岡山会場でも開催しました(前期試験のみ)。

AO入試・指定校推薦入試の合格者も挑戦できる点や、実技試験(鉛筆デッサン)1科目のみで合否判定を行う点から、多くの受験生に挑戦していただいております。

次年度もオープンキャンパス・体験入学・キャンパス見学会といった各種イベントを実施いたします。新たに美大受験スタートアップ講座の開催も予定しており、昨年度よりも更に内容を充実させていく予定です。受験生や高校、美術研究所とより一層交流を深め、多くの方々に本学の学びを知っていただけるよう、幅広く告知を行ってまいります。(入学広報グループ)

「業界・企業研究会」を開催

2020年3月(2019年度)卒業・修了生の就職活動本格スタートを間近に控えた2019年2月19日(火)、20日(水)の2日間、本学有響館において進路選択の視野と可能性を広げることのできるキャリア教育の場として「業界・企業研究会」を開催しました。当日は18社の企業に参加いただき、120名を超える学生が着慣れないスーツ姿で参加しました。

3月以降、学生は大きなホールや企業の社内など慣れない場所で説明を聞いたり、筆記試験や面接を受けたりする日々が始まっていますが、今回の研究会は事前に学内というホームの環境で就職活動の雰囲気を感じ、また本学学生の採用に興味のある企業ばかりが参加している

点で、他の合同説明会とは大きな違いがあります。

当日は一方的に企業の説明を聞くだけでなく、自らポートフォリオを見てもらいに行く学生もあり、終了後「今から就職活動が始まるという意識が明確に持てた」「知らなかった仕事を知る機会となった」という声が多数寄せられました。

学生たちはこの経験を活かし、内定獲得に向け就職活動にのぞんでいます。(教務・学生支援グループ)

【ご参加いただいた企業(50音順)】

アイドマ、いろは出版、エムハート、オンワード樺山、カイカイキキ、GAINAX京都、カミオジャパン、コイズミ照明、コナミグループ、タイトルラボ、辰巳電子工業、TANA-X、ディンブス、フジプラス、ムラヤマ、メンバーズ、吉忠マネキン、ロマンス小杉



サガ・クリエイターズクラブ(SCC)第14回ワークショップ報告

サガ・クリエイターズクラブ(SCC)では、2018年12月2日(日)午後1時より本学第6演習室にて、呉塵罡(ゴジカン)先生を講師に迎え、「日本の高等教育におけるマンガ教育と表現の可能性」と題して、第14回目のワークショップ(トークイベント)を開催いたしました。

今回講師としてご登壇いただいたのは、2018年4月に本学に着任された呉塵罡(ゴジカン)先生です。台湾ご出身の呉塵罡先生は、1999年に来日、京都精華大学、同大学院を経て、現在本学芸術学部デザイン学科キャラクターデザイン領域の専任講師として日々学生の指導に尽力されています。ワークショップでは、大学教育の中でのマンガ教育について、先生ご自身の教育実践とともに、マンガ表現の可能性について熱く語っていただきました。講演終了後は参加者と熱心な質疑応答が行われ、充実したワークショップとなりました。

サガ・クリエイターズクラブ(SCC)は、卒業生の作家活動・社会的活動の支援、文化事業における大学との事業連携、卒業生相互の交流と親睦を深めることを目的に、2013年11月に発足しました。2014年には卒業生だけでなく、在学生や教職員、退職された教職員など学園関係者すべてが集うことのできるクラブへと会員資格を拡大し、現在650名余りの会員を擁する会に成長してきました。(2019.2現在)

サガ・クリエイターズクラブ(SCC)のサイトでは、会員の個展やイベント情報を紹介するほか、Webギャラリーに会員の作品を掲載しています。また、会員から寄せられた個展やイベントなどの情報は、定期的に全会員にメール配信しています。

今後とも大学から会員への情報発信の場として、学園関係者の交流の場として一層の充実を図ってゆく予定です。(学長室)



TOPICS

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 第47回制作展 開催報告

2月7日(木)～11日(月・祝)の5日間、「嵯峨美術大学+同大学院+嵯峨美術短期大学 第47回制作展」が、昨年度に引き続き大学本部キャンパスならびに有響館にて開催されました。1年次生から卒業・修了生まで全学生の、絵画や立体、映像作品からデザイン各領域の作品、マンガなどさまざまな表現方法で制作された900点を超える作品が展示され、本学での学びの集大成ともいえる充実した展覧会となりました。また、2月9日(土)～11日(月・祝)には、美術大学での学びをいかした雑貨やイラスト、陶器など学生の手作り作品が並ぶ「アート・フリマ」が学内各所で開催されたほか、最終日の

11日(月・祝)には、映像と音楽と衣装によるスタイリッシュなファッションショーが開催されるなど、学内開催ならではのイベントが催されました。

今年度も、在学生のご家族をはじめ、卒業生や近隣の方、一般の方など2500名余りの方々にご来場いただき、盛況のうちに終えることが出来ました。

なお、開催期間中に、卒業・修了年次の学生の作品を対象に、特に優秀な作品として各賞を選考いたしました(下記の一覧表参照)。受賞者は3月20日(水)挙行の卒業・修了証書授与式に先立って行われた授賞式で表彰されました。(制作展委員会)



	賞	学科	分野・領域	氏名
【嵯峨美術大学大学院】	大学院賞	芸術研究科	造形絵画	西脇 恵
	大覚寺賞	芸術研究科	デザイン	園田 真生
【嵯峨美術大学】	大学賞	デザイン学科	グラフィックデザイン	牧 聖一朗
	大覚寺賞	造形学科	古画研究・保存修復	三木 輝
	芸術学部賞	造形学科	彫刻	真楓(柏木 真楓)
	〃	デザイン学科	イラストレーション	中野 咲希
	教育後援会奨励賞	デザイン学科	生活プロダクト	井村 亜津子
	〃	デザイン学科	観光デザイン	江口 泰葉
	〃	デザイン学科	キャラクターデザイン	恵口 愛実
	〃	造形学科	版画・写真	勝木 有香
	〃	デザイン学科	イラストレーション	栗山 知花 栗山 結衣
	〃	デザイン学科	映像・アニメーション	小林 誠
	〃	造形学科	メディアアート	齋藤 悠麻
	〃	デザイン学科	染織・テキスタイル	佐藤 未玖
	同窓会賞	造形学科	日本画	平山 美樹
	〃	デザイン学科	キャラクターデザイン	明神 沙弥香

	賞	学科	専攻・分野	領域	氏名
【嵯峨美術短期大学】	大学賞	専攻科	美術専攻		深川 未貴
	大覚寺賞	美術学科	デザイン分野	グラフィックデザイン	坂尾 祐佳里
	〃	専攻科	美術専攻		伊智 万莉奈
	専攻科賞	専攻科	デザイン専攻		西原 空里
	美術学科賞	美術学科	デザイン分野	グラフィックデザイン	山下 茉優
	〃	美術学科	マンガ分野		加藤 好紗
	〃	美術学科	コミックアート分野		川崎 阿穂奈
	教育後援会奨励賞	専攻科	デザイン専攻		池辺 美生
	〃	美術学科	デザイン分野	グラフィックデザイン	生越 春菜
	〃	専攻科	美術専攻		木村 晃子
	〃	美術学科	美術分野	日本画	木村 なな
	〃	美術学科	デザイン分野	イラストレーション	高坂 寧々
	〃	美術学科	マンガ分野		繁光 菜穂子
	〃	美術学科	美術分野	洋画	下中 真由
	〃	専攻科	デザイン専攻		長沼 あり紗
	〃	専攻科	デザイン専攻		橋本 維花
	〃	美術学科	デザイン分野	絵本	濱田 梨緒
	〃	専攻科	デザイン専攻		東田 あゆみ
	〃	美術学科	デザイン分野	広告デザイン	菱岡 雛美
	同窓会賞	美術学科	デザイン分野	暮らしのグッズデザイン	桐山 梨花
	〃	美術学科	デザイン分野	アニメーション	蔡 幸真
	〃	専攻科	デザイン専攻		助光 可奈
	〃	専攻科	デザイン専攻		山地 梨穂

※教育後援会奨励賞、同窓会賞は氏名の50音順

附属ギャラリー「アーツスペース嵯峨」スケジュール

「入佐美南子教授退職記念展(仮)」

会 期：6月11日(火)～23日(日)
時 間：12:00～18:00

※大学の授業や行事により、展覧会の内容や日時を変更する場合があります。

アートプレイス「アーツスペース嵐」スケジュール

「嵯峨美術大学 キャラクターデザイン領域選抜作品展」

会 期：4月5日(金)～14日(日)
時 間：11:00～18:00

「嵯峨美術短期大学 絵本領域作品展」

会 期：6月15日(土)～21日(金)
時 間：9:00～16:00(最終日15時まで)

※大学の授業や行事により、展覧会の内容や日時を変更する場合があります。

連続公開講座「京の美意識」

四季をおこなす美しい景観に恵まれ、都として長い歴史を刻んできた京都には、独特の知恵や美意識が存在します。今年度は「京都の『衣』を支える。」をテーマに講師を招いて講演いただきます。

第120回「制作における伝統工芸とコンピュータの立ち位置」

日 時：5月18日(土)14:20～15:50
講 師：平山 佳秀氏<モダンアンテナ代表>
会 場：有響館4階・G401教室にて開催(参加無料) ※場所を変更する場合があります。
お問い合わせ先：TEL. 075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

サガフリーマーケット「サガノミノイチ」

本学では、学生有志によるフリマ実行委員会の主催でフリーマーケットを開催しています。学内を会場に、リサイクル品だけでなく、美大生ならではの手作りグッズから世界にひとつの作品まで、美術大学ならではのラインナップで出品されます。在学生はもちろん、近隣の方々もご参加・ご出展いただけるサガフリーマーケット「サガノミノイチ」にご期待ください。

日 時：6月1日(土)11:00～16:00
場 所：ギャラリー棟前・芝生エリアなど

※天候や、大学の授業や行事により開催日を変更や中止する場合があります。
お問合せ先：TEL. 075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

大学関連行事予定 Apr.2019 - Jul.2019

4月	1日(月) ……	新入学生生活ガイダンス
	6日(土)	奨学金説明会(奨学金希望者) 全体カリキュラムガイダンス 履修登録ガイダンス、履修登録 資格課程(学芸員、教職)ガイダンス 大覚寺見学会 新入生歓迎会(学友会主催) 造形学科宿泊研修 等
	2日(火) ……	入学宣誓式・保護者説明会
	5日(金) ……	定期健康診断
	8日(月) ……	前期授業開始
	28日(日) ……	体験入学
5月	26日(日) ……	オープンキャンパス
6月	16日(日) ……	体験入学
7月	7日(日) ……	体験入学(AOI期プレ体験)
	21日(日) ……	オープンキャンパス

一斤染
今号の色

一斤染(いっこんぞめ)は、染料の紅花一斤で絹一疋を染めた淡い紅色のことです。平安時代は紅花が高価であったため、濃い紅染は『禁色』とされ、天皇の許可がない限り着用が禁止されていました。ただ、一斤染のような薄い紅染の場合は、『聴し色(ゆるしいろ)』として身分の低いものの着用が許されており、このことから一斤染の別名を『聴色(ゆるしいろ)』とも呼ばれます。



学校法人 大覚寺学園

嵯峨美術大学
嵯峨美術短期大学



公式
Facebook



公式
Twitter



公式
YouTube

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
TEL.075-864-7858(代) FAX.075-881-7133 <https://www.kyoto-saga.ac.jp>

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学広報 第68号 2019年4月1日発行 編集：嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 入学広報グループ
発行：学校法人大覚寺学園 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学
info@kyoto-saga.ac.jp

